

04年度(平16)学校法人専修大学決算

教育研究の改善に一定の成果

学校法人専修大学の04年度(平16)決算は、5月25日開催の理事会・評議員会で承認され確定した。

専修大学・石巻専修大学・専修大学北海道短期大学では、21世紀ビジョン「社会知性(Socio-Intelligence)の開発」の下、教育研究の向上を図るために自己点検・評価を行い、「学生を基本に据えた大学づくり」を進めているが、04年度は、専修大学及び石巻専修大学の学部入学定員における臨時定員分の段階的減少の最終年度に当たることもあり、主要な財源である学生生徒等納付金収入の減少が見込まれていた。

そのため、予算編成に当たっては、事業を厳しく見直すことにより諸経費節減の努力を積み重ねるなど、効率的な運営を進めてきた。

このような中、専修大学において4月から法科大学院が76人の入学者を迎えて開校し、また、01年度(平13)に設置したネットワーク情報学部が完成年度を迎え05年3月に第I期生を送り出すなど、これまで改善努力を進めてきた課題に対する一定の成果を得たといえる。